

推進方向 1 2

文化財の保護と活用

地域の特色ある歴史を伝える文化財や、長い歴史を通じ地域で守られてきた伝統文化に対する理解を深め、自らに生かし、ふるさとへの誇りと愛着をもちながら、継承し発展させようとする心を育みます。

◇ 対象施策 ◇

関係機関や保存団体と連携を図り、文化財の適切な保護を進めるとともに、伝統芸能等の保存継承を促進します。

◆ 重点事業 ◆

◎ 文化財の適切な保護の推進

未指定文化財や埋蔵文化財の調査など必要な措置を講じ、文化財の適切な保護を進めます。

◎ 伝統芸能等の保存継承の促進

関係機関や保存団体との連携を図り、伝統芸能等の保存継承を促進します。

◇ 対象施策 ◇

文化財や民俗資料等を活用し、郷土の歴史や文化を学ぶ機会の提供に努め、文化財保護意識の醸成を図ります。

◆ 重点事業 ◆

◎ 郷土の歴史や文化を学ぶ機会の提供

山田家本屋をはじめとする文化財の利活用や、民俗資料展示施設等を運営し、文化財や民俗資料に触れ、郷土の歴史や文化について学ぶ機会の提供に努めます。

◎ 文化財保護意識の醸成

ホームページや文化財マップ等による情報提供の充実を図るとともに、講座や展示の実施・協力を通じて、文化財への関心の高まりや保護意識の醸成を図ります。

◇ 対象施策 ◇

ツル保護事業に関する協議機関の充実を図り、ツルの生息環境の保全と渡来数の増羽に向けた対策を進めます。

◆ 重点事業 ◆

◎ 関係機関との連携強化

ツル保護団体や国、県、関係市との連携を緊密に行い、ツルの生息環境の保全と保護
ツルの移送並びに飼育・放鳥など、渡来数の増羽に向けた対策を進めます。

◎ ツルの生育環境の保全

餌場やねぐら等の環境整備、野鶴の監視や給餌など、生育環境の保全を進めます。

☆ 成果指標・目標 ☆

指標名	現状値	目標値
文化財指定登録件数	104件 (平成27年4月)	106件 (平成32年3月)
山田家本屋入館者数	2,407人 (平成27年度)	3,000人 (平成31年度)
重点整備するツルのねぐらの維持管理	4か所 (平成27年度)	4か所 (平成31年度)